

業務用システム、センサ開発を得意とするシステムインテグレーター 日本システム開発株式会社

当社は、システム開発、電子機器製造、ITコンサルティング、IoTソリューションなどの事業を展開するシステムインテグレーターです。システム開発においては、インフラ基盤の構築はもちろん、ハードウェアの保守、運用サポートまでワンストップで提供しています。また、独自の半導体センサの技術力を活かし、変位センサや距離測定用ICなども製造・販売しています。



徳島本社

事業内容 技術特徴

- 企画提案から開発、運用・保守までのサービスをワンストップで提供
- 高い技術力と豊富な実績によって競争力のあるシステムを開発
- 高周波発振技術とデジタル信号技術をコア技術とした製品を製造

主要事業

当社は、創立以来、システム開発、インフラ基盤構築、ハード保守・運用サポートに加え、電子機器（センサ）ソリューションを提供しています。

SI事業

SI事業では、コンサルティング及びシステム開発を通じて、お客様が直面する課題を解決。SIサービスから、業務用アプリケーション、インフラ構築、保守・サポートまでワンストップで提供することで、お客様の経営改革・業務改善に貢献しています。

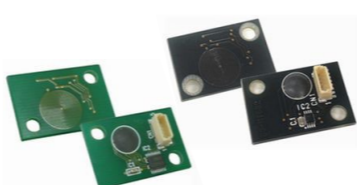
- システムインテグレーション
- MAGICサービス
- コンサルティングサービス



電子機器事業

電子機器事業では、高周波発振技術とデジタル信号技術をコア技術とした製品を開発。主要製品は、変位センサ及び距離測定用ICであり、2001年に製造を開始して以来、小型の形状優位性によって、各種工業製品に搭載され、お客様の製品競争力向上に貢献しています。

- 変位センサの開発・製造
- センサLSIの開発・製造



技術紹介

変位センサ

当社が開発した超小型変位センサ「DS2001」は、2001年の発売以来、多くの工業製品に採用されています。外観は、電子回路基板であり、プリント基板の平面コイルと専用IC（半導体）で構成する小型・薄型タイプです。各種のカスタム製作にも対応しています。

〈機能〉

変位センサは、検出体が移動した際に、その微小移動量を測定することができます。

- 精密位置決め、位置制御
- 検出体の高さ、厚みなどの寸法測定
- 移動量を発生させた圧力や荷重の測定

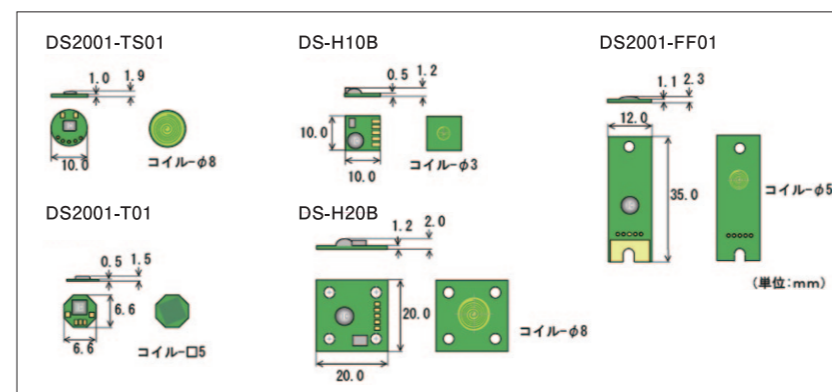
〈メリット〉

- ◎ センサと導電体との空間距離変位を5ナノメートル以下の高分解能で検出
- ◎ 発振周波数が高い（100～300MHz）ため対向する。導電体の厚みに影響されない
- ◎ 高周波回路、増幅回路、A/D変換等が不要
- ◎ 磁性の有無に関係無くあらゆる金属に反応
- ◎ 基板タイプのため、数ミリの空間に設置が可能
- ◎ 量産性に優れ、価格競争力が高い

〈小型・薄型デジタル出力変位センサの開発実績〉

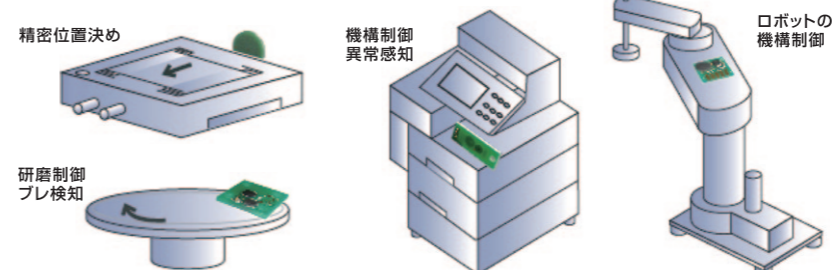
- 1998年 フルカスタムIC（距離測定用IC）開発
- 2001年 高性能変位センサ「DS2001」量産開始
- 2009年 ICの高性能化（17Bit→32Bit）
*日・米・独・中・韓にて特許取得
延べ出荷数 10万個到達
- 2012年 延べ出荷数 30万個到達
- 2015年 延べ出荷数 50万個到達

〈小型・薄型デジタル出力変位センサラインナップ〉



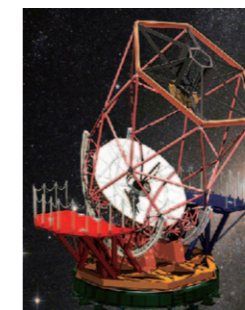
〈変位センサ 使用例〉

延べ70万個を超える使用実績



〈実績：京都大学 3.8m新技術望遠鏡計画に採用〉

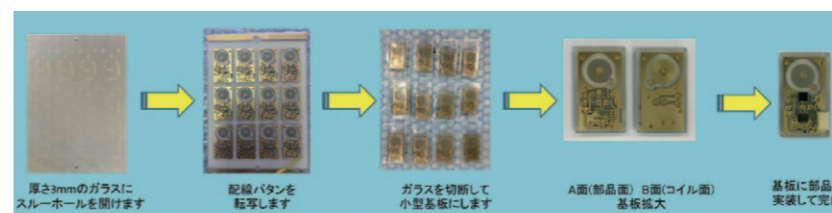
京都大学3.8m望遠鏡は、東アジア最大級の光学赤外線望遠鏡で、2018年8月に完成しました。京都大学理学研究科附属天文台及び宇宙物理学教室によって運用されています。当社の超小型変位センサは、この望遠鏡の18枚に分割されている鏡のズレを50ナノメートル以内に調整するため、計144個使用されています。



設置場所：国立天文台岡山天体物理観測所（日本で一番晴天率の高い岡山県小田郡矢掛町）

京都大学3.8m望遠鏡用超小型センサの制作

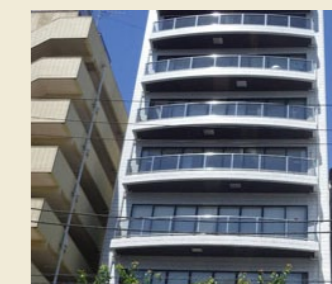
望遠鏡用のセンサ基板に超低膨張ガラスのクリアセラムガラスに採用



当社は「ものづくりは、まず人づくりから」という想いのもと「共創」「信頼」「真心」の3つの心を持った人をつくる「人づくり」を目標としてきました。現在、当社には、30名以上のMagic認定技術者のほか、多数の各種IT技術者が在籍しています。これからも当社は、絶え間なく最新テクノロジーの習得を続けると共に、資金力・担保力の充実、営業力の強化、パテントの拡充によって経営の総合力を高め「人とコンピュータが融合した社会づくり」のため、日々、精進・努力を続けてまいります。

JSD 日本システム開発株式会社
〒770-0044 徳島県徳島市庄町5丁目81番地80号
TEL. 088-632-6171 (代表) / FAX. 088-632-6241

2018年10月作成



東京支社



支社分室

■会社概要

社名	日本システム開発株式会社
代表者	代表取締役 金岡 秀司
設立	1974年5月1日
資本金	9,800万円
所在地	〒770-0044 徳島県徳島市庄町5丁目81番地80号
連絡先	TEL. 088-632-6171 (代表) FAX. 088-632-6241
URL	https://www.sensingic.com/
事業内容	システム提案・開発・保守 電子機器の開発・製造受託(OEM/ODM) 変位センサ・センサシステムの開発・製造
主要取引先	大手企業 / 官公庁 等

■会社沿革

- 1972年6月 日本システム開発創業
- 1974年5月 (株)JSDマネージメントセンター設立
地方公共団体・公益企業等を得意先とする電子計算センターとして事業開始
- 1978年5月 ソフトウェアの開発受託並びにシステム技術者派遣を開始
- 1981年9月 JSDビル(現本社ビル)新築落成
日本システム開発(株)に社名変更
- 1983年4月 全国ソフトウェア協議会(JAS)を発足、加盟
- 1990年12月 販売部門独立。
JSDコンピュータ販売(株)設立
- 1992年5月 首都圏での営業拠点、開発拠点として東京営業所(現東京支社)開設
- 1997年9月 「電子ペンの研究」により第1回徳島ニュービジネス大賞最優秀賞を受賞
- 1999年9月 センサ技術にて米国特許取得(その後、日、独、中、韓にて特許を取得)
- 2002年11月 マジックソフトウェア・ジャパン(株)より、「The Premier Partner」として表彰
- 2004年3月 センサ技術にて「中小企業優秀新技術・新製品賞」優良賞を受賞
- 2006年8月 座標入力装置に関する日本特許取得
- 2007年1月 プライバシーマーク取得